



茨城県
しもつま
下妻市議会
来燕

つばめ市議会ノートブックを学びに

10月9日(水)、茨城県下妻市議会「広報広聴委員会」の皆さん6名が視察に来られました。
「多くの方に手に取ってもらえる、わかりやすい議会だよりを目指したい」と、皆さん意欲的でした。



燕市議会の「議会広報等特別委員会」も全委員で対応しました。



下妻市ミニ情報

茨城県南西部、東京から約60キロメートルに位置し、人口は約4万2千人、面積は約80平方キロメートルで緑と水に恵まれた田園都市です。関東最古の歴史を誇る「大宝八幡宮」で知られ、茨城県銘産地の指定も受ける「梨」などが全国有数の産地です。



議会だよりは
こちらから

我々にはない先進的な誌面づくりをされているので視察に伺いました。
「市民の声」もいいですし、色使いもシンプルで見やすいですね。
委員全員に対応いただきましたし、懇談では「議員名にふりがなを振った方がいい」とアドバイスをいただきました。
我々も誌面づくりを事務局頼りではなく、写真は自分たちで撮るなど、見やすい紙面づくりを目指していきたいと思います。

下妻市議会広報広聴委員会
委員長 宇梶 浩太



ぎかい豆知識

緑の下の力持ち「議会事務局」の巻

燕市議会がスムーズに進んでいるのは、議会事務局のおかげです。議会の準備や運営を支えるだけでなく、行政視察の際には、視察先との調整や当日の段取りまで細かく対応してくれます。また、議員が市政の課題に取り組む時には、行政とのつなぎ役としても活躍してくれています。まさに「緑の下の力持ち」。事務局がしっかりと支えてくれるからこそ、私たち議員は市民の声を届け、まちづくりに向けた活動ができるんです。

これからも事務局と一緒に力を合わせ、分かりやすく、開かれた議会を進めていきます。

